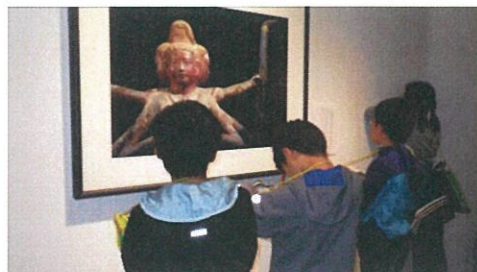


① 事業実施報告書詳細

学校名 奈良市立飛鳥小学校

1 入江泰吉について知り、写真美術館へ行く(4時間)

- ・入江泰吉写真集の作品を見て、本校の卒業生でもある入江泰吉について知る。
- ・作品を鑑賞し、技術員の方から入江の作品に対する思いや入江の人となりについて話を聞く。
- ・入江の奈良に対する思いについて話し合う。



写真美術館にて

2 春日山原始林について、その価値や現状を理解する(2時間)

- ・「春日山原始林を未来へつなぐ会」の方に来ていただいて、話を聞く。

話の概要

春日山原始林は、昔から神の山として大切にされ、1000年以上人の手が加えられていないため、800種類もの樹木をはじめ様々な貴重な生き物が生きている。市街地から歩いて30分程度のところに、このような原始林があることがめずらしく、世界文化遺産「古都奈良の文化財」の構成資産の一つである。しかし、近年の著しい気候の変化や鹿による食害などによって、植生や生態系が変化してきており、このままでは原始林としての価値が保てなくなっている。

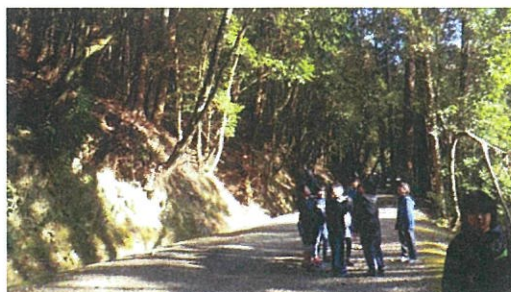
- ・春日山原始林のすばらしさについて話し合う。

3 春日山原始林へ写真を撮影しに行く(4時間)

- ・春日山原始林のどんなことをみんなに伝えたいかを考える。
- ・写真美術館の技術員の方に効果的な写真の撮り方について教えてもらう。
- ・春日山原始林へ行って撮影する。



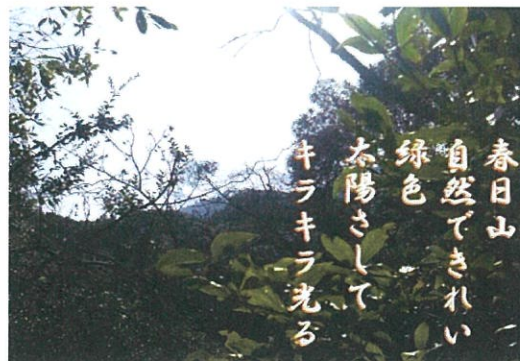
「春日山原始林を未来へつなぐ会」の方についていただいて、お話も聞きながら撮影しました。



グループで1台デジタルカメラを持って、撮影したい場所を各自が見つけました。

4 作品にする写真を選び、自分の思いを伝える短歌を考える (3時間)

- ・撮影した写真から作品にしたい1枚を選ぶ
- ・写真に添える短歌を考える (国語)
- ・各自がタブレットで作品を仕上げ、プリントアウトする



児童の制作した作品例

5 作品の交流会を行う (1時間)

- ・学習参観で、各自が自分の作品 (写真と短歌) が生まれてきた背景について発表する。

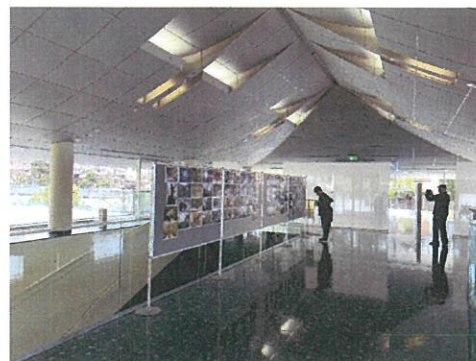
(この後、全員の作品を写真美術館に展示していただいた) 2月26日~3月10日



学習参観での発表会



奈良市写真美術館



展示の様子

② 学習指導案

単元名 (全14時間)	わたしたちのまちに言葉の贈り物
学習のねらい	かつて「ならまち」の暮らしを支え、今もまちの景観に欠かすことのできない春日山原始林には、豊かな自然環境があることや様々な課題があることを理解し、未来へ大切に残していくために、その思いを写真と短歌に表現する。
学習内容	1 入江泰吉について知り、写真美術館へ見学に行く 2 春日山原始林について、その価値や現状を理解する 3 春日山原始林で写真を撮影しに行く 4 作品にする写真を選び、自分の思いを伝える短歌を考える 5 作品の交流会を行う
参考資料 準備品 実施場所等	入江泰吉記念奈良市写真美術館、春日山原始林を未来へつなぐ会に協力していただき、ゲストティーチャーとしてお話していただいたり、現地学習での指導をしていただいたりする。

学習の流れ

	主な学習活動	学習への支援
1 2 3 4	<p><u>入江泰吉について知る</u> ○入江泰吉さんの生い立ちや業績について知る。</p> <p>○奈良の風景を写真におさめ続けた入江泰吉の思いを考える。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・飛鳥小学校の卒業生であることを押さえ、自分たちの身近な存在であることを知らせる。 ・入江泰吉写真展を見学し、奈良市写真美術館のスタッフのお話を聞く。
5 6 7 8 9 10	<p><u>春日山原始林の自然を調べる</u> ○「春日山原始林を未来につなぐ会」の方からお話を聞く。</p> <p>○資料を使って春日山原始林について調べる。</p> <p>○昔に撮影された春日山原始林と比較しながら自然観察をし、写真におさめる。</p> <p>○自分が残したい春日山原始林の写真を1つ決める。</p> <p>○選んだ理由を交流し合う。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・春日山原始林の自然環境を守るために働く人がいることに気付かせる。 ・春日山原始林の自然環境や課題、価値について教えてもらう。 ・昔の写真と比較しながら、自然観察を行い、何がどのように変化しているのか細かく考察させる。 ・写真を見た人にどんなことを伝えたいのかを考えさせる。

11	春日山原始林について発信する	<ul style="list-style-type: none"> ・国語「日本の短歌」を学習し、春日山原始林の価値や未来へ大切に残したい思いを表現できる短歌を考えさせる。 ・A4用紙1枚に写真と短歌をレイアウトさせる。 ・学年合同で行う。(ポスターセッション形式)
12		
13		
14		
	○伝えたい思いを表現する短歌を考える。	
	○タブレットで作品を仕上げる。	
	○作品の交流会をする。	

③ 実施内容について

<p>(1) 実施にあたり工夫した点</p> <p>本校区にある入江泰吉記念奈良市写真美術館へ見学に行ったり、技術員の方に入江泰吉について話をしてもらったり写真の効果的な撮り方について指導していただいたりした。また、完成した作品を全員分2週間館に展示していただいた。さらに、春日山原始林を未来へつなぐ会に協力していただき、その価値や現状について教えていただくとともに、写真撮影の際には現地で指導していただくなど、近隣の施設・団体と連携して取り組んだ。</p>
<p>(2) 実施にあたり苦労した点</p> <ul style="list-style-type: none"> ・協力いただく団体・関係者との日取りや時間などの調整 ・授業時数の確保（今年度は総合的な学習の時間が年間35時間しかなかった） 撮影した写真の選に択・編集作業に時間がかかった ・写真撮影の際のデジタルカメラの台数確保
<p>(3) 児童の反応</p> <p>奈良を代表する写真家入江泰吉が本校の卒業生だったという驚きから、作品に込められた「ふるさと奈良」への思いを共感したことで、身近にある世界遺産「春日山原始林」をなんとか守っていかねばならないという危機意識をもった。さらに、入江泰吉に倣い、自分たちも奈良への思いをこめて写真を撮影し、その思いを伝えることで「自分も含めてみんなで守っていかねば」という地域に対する当事者意識が生まれてきた。</p>
<p>(4) 担当教諭及び担当外教諭の変化</p> <p>これまで4年生では、総合的な学習の時間において入江泰吉を取り上げて学ぶことはやっていたが、春日山原始林とリンクさせて学習することや、国語の短歌の学習を生かして作品を仕上げるなど、新学習指導要領で重視されている教科横断的なカリキュラム・マネジメントの視点を大切にしたい取組になったことで、他学年の総合的な学習の時間の取組もそういう視点で見直していく必要性を感じた。</p>

(5) 今後の課題と取り組み (児童の思考過程と指導内容との関連付けから、留意すべき事項等)

本校では、「地域に学び、地域で学び、地域に誇りと愛着を」をテーマに、各学年においてESDの視点に立って様々な実践を積み重ねてきているが、学習指導要領が新たになる中で、今一度きちんと検証し、見直すべきところは改善していく必要がある。